

# 競争で勝ち抜くためには

## 2014 年 IBM Business Tech Trends 調査



IBM Center for Applied Insights

## IBM Business Tech Trends 2014 – エグゼクティブ・サマリー

- ✓ ビッグデータ & アナリティクス、クラウド、モバイル、ソーシャルは既に多くの企業で導入されています。
  - いずれも 10 社中 7 社の企業が採用
- ✓ その中でも、一部の企業はそれらのテクノロジーを効果的に活用し、他社よりも優れた業績を上げています。

あらゆる企業が競争に加わる中で、ペースセッター (先行企業) はどのようにしてトップを守り続けているのでしょうか



### パートナーシップは ビジネスに欠かせない DNA の一部である

ペースセッターは伝統的な枠に囚われないパートナー (スタートアップ、顧客、学術機関) とチームを組み、製品開発やスキル向上に努めています。

**80%がシチズン・デベロッパ  
ー(個人/独立系デベロッ  
パー)と協業**



### アナリティクスが エネルギー源

ペースセッターは高度なアナリティクスのケイパビリティとスキルを備え、そこから得た洞察をビジネスへ活かしています。

**約 10 社中 7 社の企業が、組織の  
意思決定にはデータ分析から得  
られる洞察が不可欠と回答**



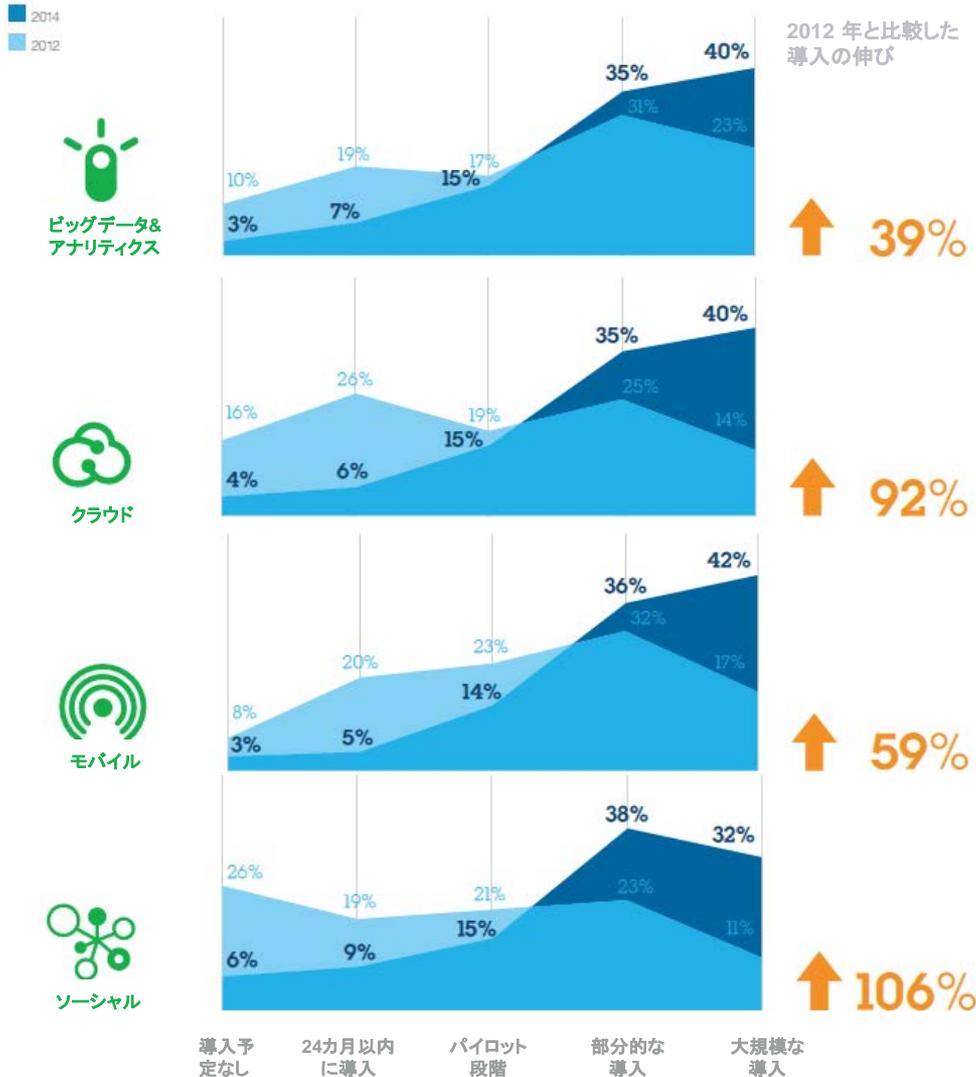
### インテグレーションで 引き離す

ペースセッターはテクノロジーを統合することで、より高い効果をあげています。

**クラウドを中核としてモバイル、  
ソーシャル、ビッグデータとア  
ナリティクスを活用する割合が、  
チェイサー(追従企業)と比べ  
て 4 倍から 7 倍高い**

注: 1,447 人の IT および基幹業務の意思決定者を対象に実施した調査に基づいています。対象者は 13 カ国、15 業種に及びます。

# 各テクノロジーの導入の伸びと投資への意欲



## 導入:

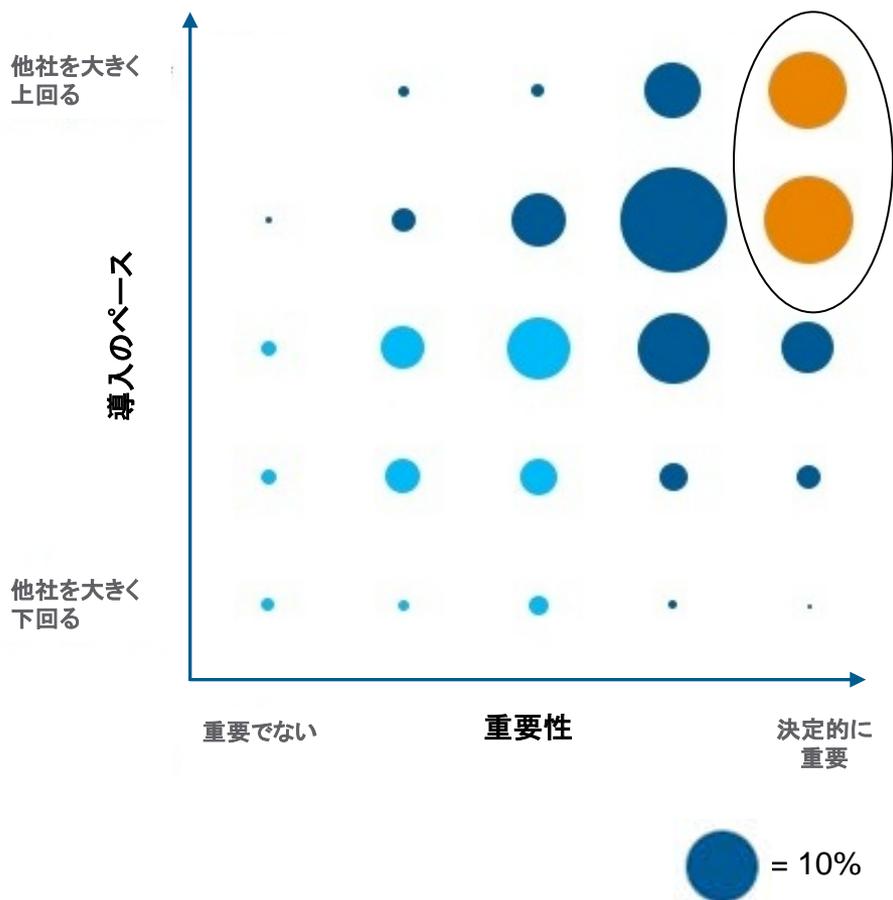
各テクノロジーはいずれも多くの企業で採用され始めています。最も伸び率が高かったのはソーシャル・テクノロジーで、2012年と比較して、2014年には2倍以上の伸びをみせています。

## 投資:

今後2年間で、75%の企業がモバイル、ビッグデータとアナリティクス、クラウドに対する投資を、66%の企業がソーシャル・ビジネスに対する投資を増やす予定です。

「ペースセッター」と呼ばれる企業は、ビッグデータ & アナリティクス、クラウド、モバイル、ソーシャルがビジネスで成功するために不可欠であると考えています

### 道を開くのはペースセッター



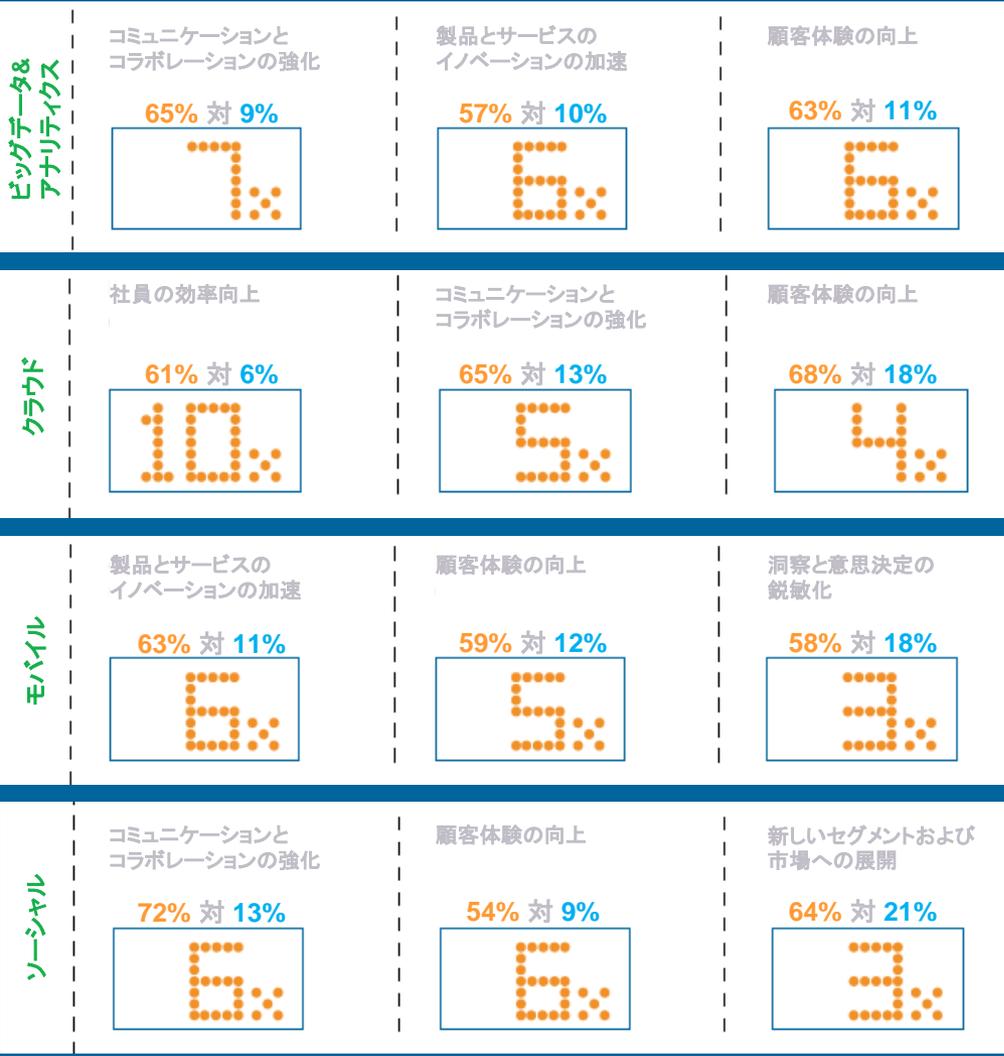
ペースセッターは、テクノロジー (ビッグデータ & アナリティクス、クラウド、モバイル、ソーシャル・ビジネス) はビジネスの成功にとって極めて重要であると考えており、導入のペースは他社を上回ります。

ペースセッターと呼ばれる先行企業の割合は 2012 年から 7 ポイント上昇



...そして、テクノロジーを活用することで、他社よりも優れた業績をあげています

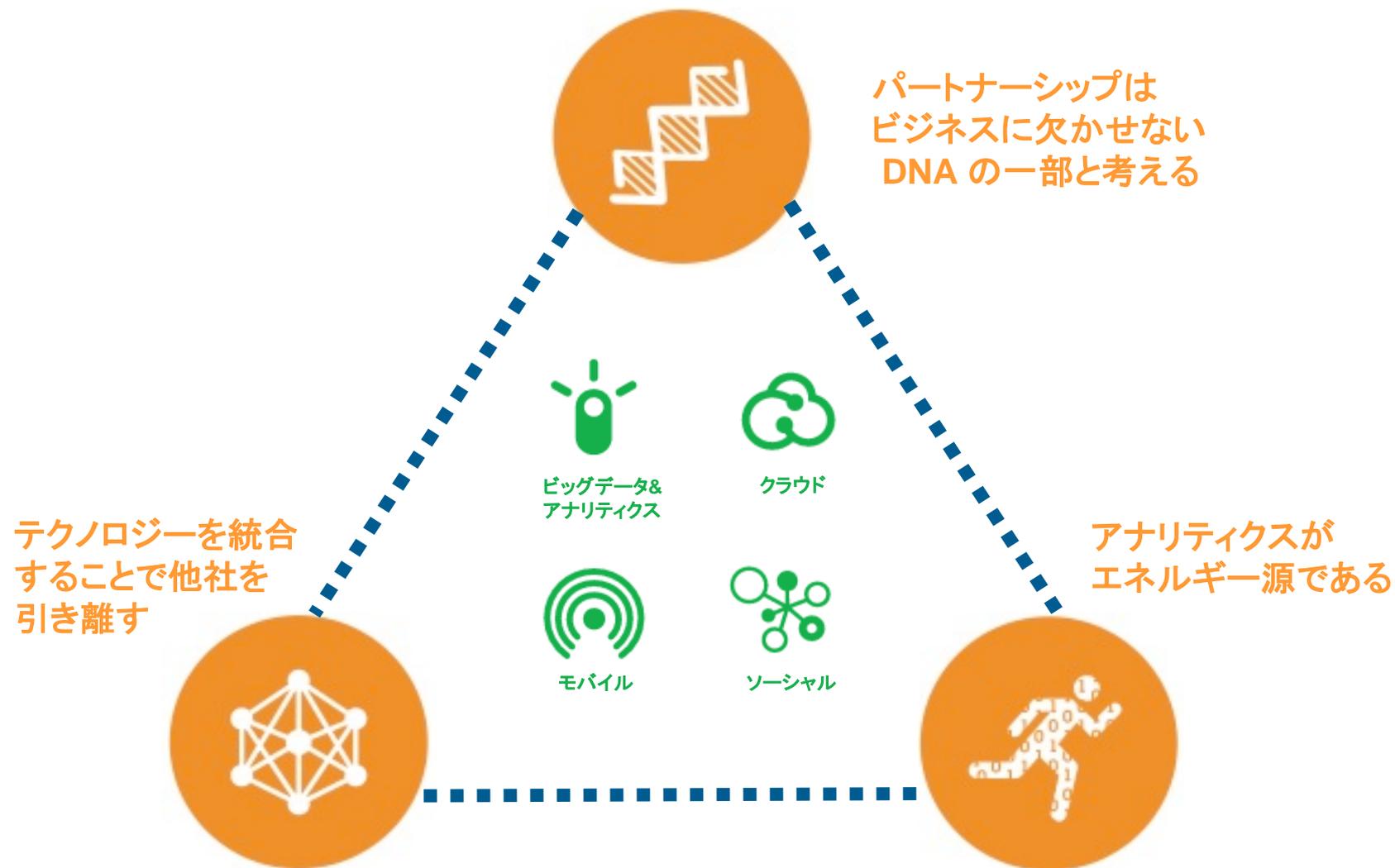
目標の達成: **ペースセッター** 対 **チェイサー**



10社中9社のペースセッターが、これらの施策から**大きな競争上の優位性**を得ていると答えています。

激化する競争の中で、**ペースセッターがこのような違いを発揮できる理由**はどこにあるのでしょうか..

# ペースセッターがとっているアプローチとは





## パートナーとの連携は DNA の一部: ペースセッターは従来とは異なる 新たなパートナーと、幅広いエコシステムを構築しています

パートナーと連携して  
スキルのギャップを埋める

半数近くのペースセッターが、  
テクノロジー・スキルの開発  
に向けてパートナーと協業  
(チェイサーは僅か13%)

96% がプロフェッショナル/デ  
ベロッパーと組み、79% が  
シチズン・デベロッパー(個人/  
独立系デベロッパー)と協業



パートナーと連携して  
イノベーションを実現

ペースセッターは顧客、スター  
トアップ、学術機関を引き込んで、イノベーションを推進して  
います。

ペースセッターはチェイサー  
(追随企業)と比べて:

**製品開発のために**

1.3 倍多く顧客と協業し、  
2 倍多くの学術機関と協業し  
ている

**IT戦略の意思決定のために**  
2.6 倍多く、スタートアップ企  
業に支援を求めている

**アナリティクスがエネルギー源:** ペースセッターはアナリティクスによって得た洞察を、自社の意思決定に活用します

現在



**89%** が熟練したビッグデータ & アナリティクスのケイパビリティを保有

**74%** が必要なビッグデータ & アナリティクスのスキルの大半を保有

**10 社中 7 社**

組織の意思決定には、データ分析に基づいた洞察が不可欠と回答

チェイサーの  
3.6 倍

将来

**60%** が今後 2 年間でビッグデータ & アナリティクスに対して10%以上の投資を増やす予定

**80%** 以上が今後 2 年間でソーシャル・メディアとモバイルへのアナリティクスの採用を拡大する予定

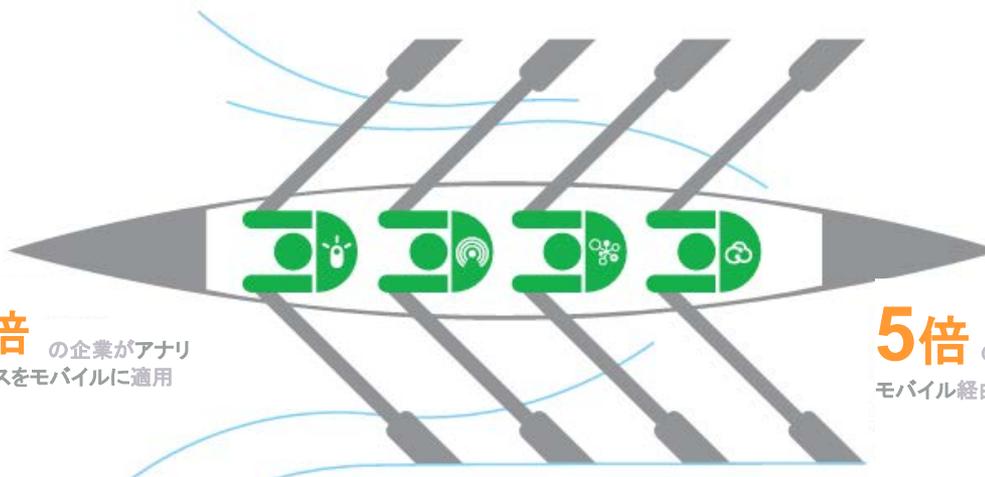


# インテグレーションで引き離す: ペースセッターは、他のグループよりもはるかに高度にソーシャル、モバイル、アナリティクスの各テクノロジーを統合しています

**6倍** の企業がアナリティクスを  
ソーシャル・メディアに適用

**6倍** の企業がアナリ  
ティクスをモバイルに適用

**5倍** の企業が  
モバイル経由でソーシャル・ツールを提供



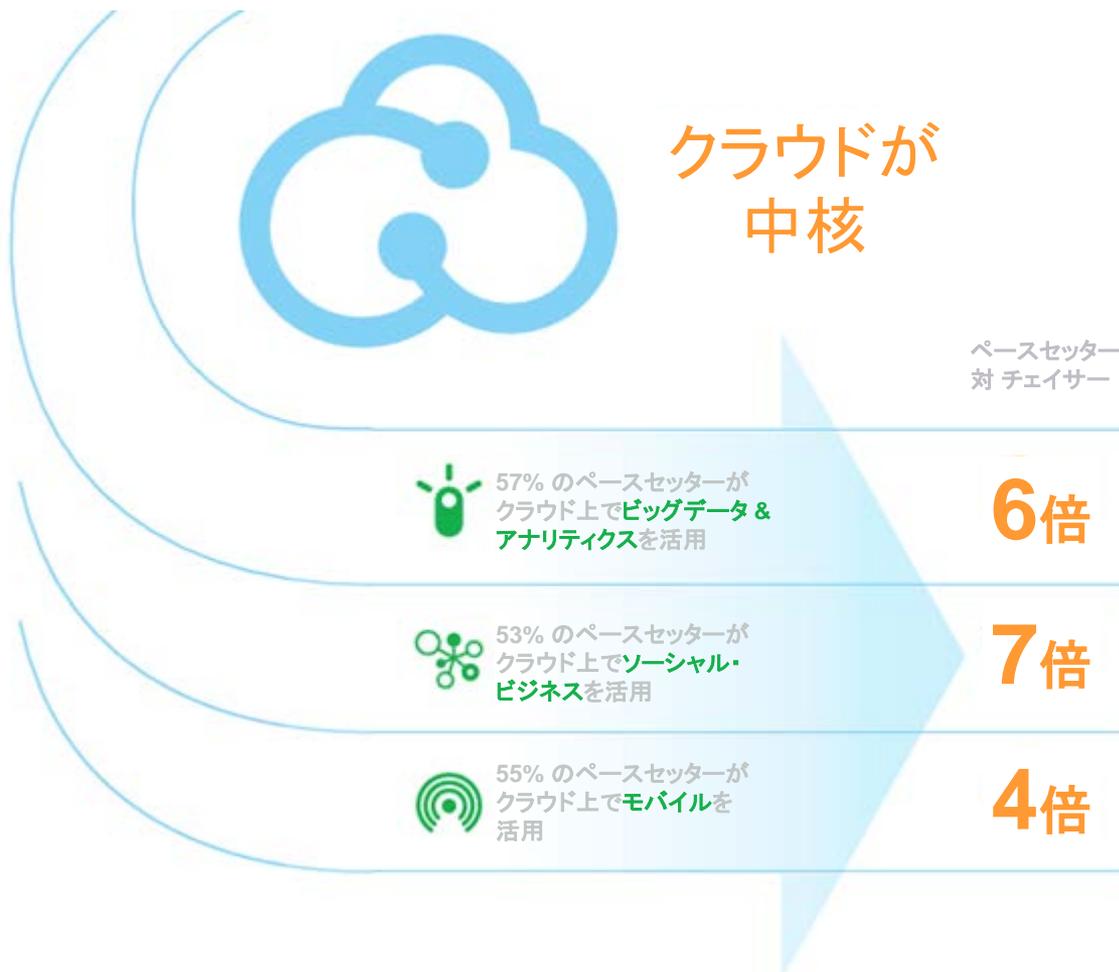
	チェイサー	フォロワー	ペースセッター
モバイルを通じ、ソーシャル・ツールを積極的に推進している	11%	36%	55%
アナリティクスをモバイルに積極的に活用している	9%	31%	57%
アナリティクスをソーシャル・メディアに積極的に活用している	10%	30%	57%



... また、ペースセッターはクラウドをこれらのテクノロジーの中核と  
考えています

50% を超えるペースセッターが、クラウドは他のテクノロジーを活用/提供/応用するための中核であると考えています。

チェイサーと比べて、ペースセッターは4倍から7倍高い割合で、クラウドを中核としてモバイル、ソーシャル、ビッグデータとアナリティクスを提供しています。



# 優位性を保つためには、テクノロジーの導入のみならず戦略的なコラボレーションが必要



## パートナーシップを組む 相手やタイミングについての 考え方を広げる

- **スキルのギャップを創造的に埋める。**  
学術機関、スタートアップ、顧客と連携した社員研修を検討したことはありますか。専門知識の獲得や作業の高速化のため、クラウド・ソーシングを活用したり、シチズン・デベロッパーと連携したりしていますか？
- **イノベーションをチーム・スポーツとして捉える。** 製品開発に顧客や学術機関を巻き込むことは考えられますか。ITに関わる戦略的な決定に際して、顧客やスタートアップに参加を求めたことはありますか？
- **コラボレーションを向上させる。**  
パートナーとの連携にソーシャル・ビジネス・ツールを使用していますか。クラウドを通してコラボレーションを拡大していますか。アナリティクスを活用して自社のエコシステムに対する理解を深めていますか？



## 直感ではなく、 洞察に基づいて行動する

- **高度なアナリティクスへの備えを固める。**  
非構造化データ（例：ソーシャル・メディア）などの新しいデータ・ソースの活用には踏み切る予定はありますか。予測分析やプリスク립ティブ（処方的）アナリティクスといった、より高度なケイパビリティを構築する予定はありますか？
- **チームを鍛える。** 分析ツールを使用し洞察を引き出すために、社内では技術的なスキルとビジネス・スキルを必要なレベルで保有していますか？
- **洞察に基づいて行動する。** 本能的な直感ではなく、ファクトに基づいた洞察によって意思決定を下す企業文化がありますか？



## テクノロジーを統合して 成果を拡大する

- **連携を簡単にする。** 社員、パートナー、顧客に対し、モバイルで利用可能なソーシャル・ツールを提供していますか？
- **モバイル・アプリをさらにスマートにする。**  
ビッグデータおよびアナリティクスから得られるインテリジェンスと、モバイルの利便性をどのように取り合わせて、顧客や社員のためのイノベーションを実現していますか？
- **戦略的に統合する。** クラウドを活用することで、その他のテクノロジーの施策をどのように高速化し、拡大できますか。テクノロジーをインテグレーションすることは、新しいビジネス・モデルの作成に役立ちますか？



調査の詳細については、以下をご覧ください。

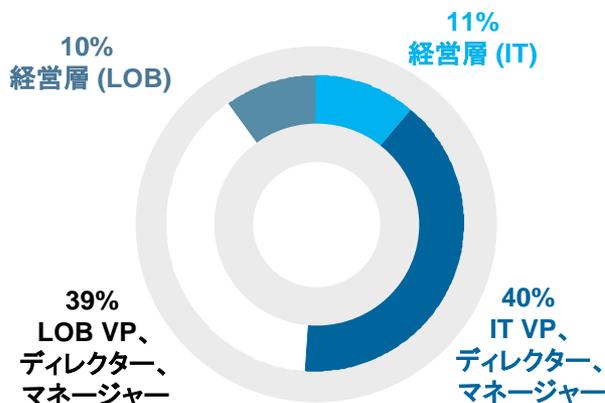
[ibm.com/ibmcai-japan/btt](http://ibm.com/ibmcai-japan/btt)

ビッグデータ & アナリティクス、クラウド、モバイル、ソーシャルに対する企業のアプローチを把握するために、13ヶ国 1,447 人の IT および業務の意思決定者 (Line of Business) を対象に調査を行いました

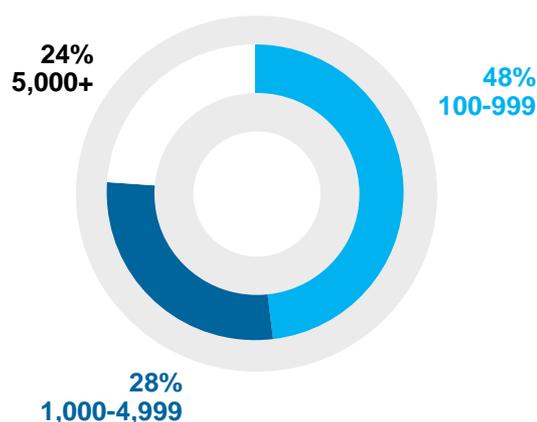
## IBM Business Tech Trends: 回答者の分布

(13 カ国\*、15 の業界\*\*に及ぶ、変革的なテクノロジーに関わる意思決定者)

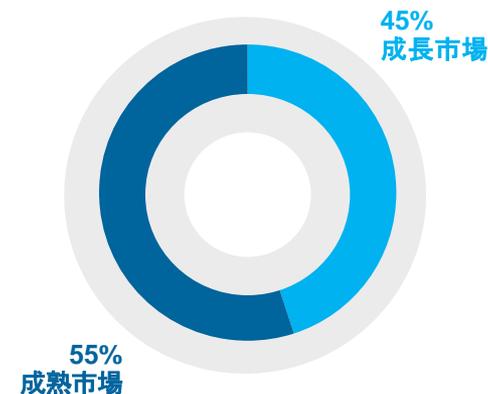
職務



企業規模  
(社員数)



地域



地域的なひずみを平準化するために、世界銀行による 2012 年の GDP データ (data.worldbank.org/indicator/NY.GDP.MKTP.CD) に基づいて回答に重み付けを行っています。

\*\* 重要度の高い 9 業界 (電気通信、電力/ガス、メディア/エンターテインメント、小売、官公庁、医療、証券、銀行、保険) を含む

調査した成長市場: ブラジル、中国、インド、メキシコ、ロシア、南アフリカ  
 調査した成熟市場: ドイツ、フランス、イタリア、日本、スペイン、英国、米国